

愛知県認知症施策推進会議第3回ワーキンググループ会議の結果について

1 日時

平成30年10月10日（水）午後2時から午後3時30分まで

2 場所

愛知県自治センター 4階 大会議室

3 出席者

別添出席者名簿のとおり

4 議題

認知症施策の推進に係る条例の考え方について

5 主な意見

○前文について

- ・「認知症は誰もが関わる可能性のある病気であり、2025年には65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症となることを見込まれている」という表現はあった方がいい。
- ・本県には、認知症の人を支援する人材が多いので、それを表現できるといい。
- ・認知症の人及びその家族の経験は社会資源であるので「認知症の人と家族の経験が活かされる」旨が表現できるといい。

○県民などの役割について

- ・認知症の人及びその家族は、できる範囲で認知症に関して感じていることを自ら発信というより、これまでの経験を活かして、というような表現ができるといい。
- ・認知症の人及びその家族が発信する声に、耳を傾けるのも県民の役割だと思う。
- ・事業者が役割を果たしていくには、県による事業者の支援も必要。事業者が学べる機会があるといい。

○相談体制について

- ・関係機関において、医療・介護に限定せず関係する情報が得られたり、相談できる機能を作っていくというのが必要と思う。
- ・認知症の人が、正しい情報が得られるようになるといい。

(以上)